

資料 1

教育実習事前事後指導の授業を欠席・遅刻・早退する  
学生は、この用紙を教職実習準備室へ提出すること。  
3 回以上欠席した場合単位を認定しない。

教育実習事前事後指導（火 I 講目）  
欠席 ・ 遅刻 ・ 早退 届

いずれかに○をつける

※ 実習による欠席については、提出しなくてよい。

(届出日) 20\_\_年\_\_月\_\_日

学科：英文 心コミ 経済 経情 経法 計画 臨床 心理 科目等

いずれかに○をつける

学籍番号\_\_\_\_\_ 氏名\_\_\_\_\_

欠席日時 : \_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日 (\_\_\_\_\_) \_\_\_\_\_講目

遅刻・早退日時 : \_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日 (\_\_\_\_\_) \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_

欠席・遅刻・早退理由 (具体的に記入すること)

---

---

---

---

---

## 教育実習中の授業連絡について

### 教育実習中の授業についての連絡

訪問指導 ○○ △△ 先生へ 教育実習生 北星 紀香

送付先：北星学園大学 教育支援課 教職担当 教科・科目名 英語

FAX：011-896-8552 / 電話：011-891-2731 (代表) 教科指導教諭 △△ ○○ 先生

教育実習校 北星学園女子中学高等学校 校長 ○○ □□ 先生

実習校所在地 札幌市中央区南4条西17丁目2-2 電話 011-345-1234

FAX 011-345-5678

	6/13 (月)	6/14 (火)	6/15 (水)	6/16 (木)	6/17 (金)	6/18 ( )
1 8:40~9:30			2年1組			
2 9:40~10:30		2年2組			2年1組	
3 10:40~11:30	2年4組					
4 11:40~12:30				2年4組		
5 13:30~14:20		2年4組				
6 14:30~15:20						
7 15:30~16:20			2年3組			

後日、電話またはメールいたしますので、よろしくお願いいたします。

---

実習校への略図

地下鉄西18丁目駅

セゾーマート

地下鉄西18丁目駅から徒歩8分です

札幌市中央区南4条西17丁目2-2

★北星

伝言  
研究授業は6/16(木)の4時間目に行われます。まだ間に至らない点もありすが、精一杯授業を行いたいと思っています。よろしくお願いします。

※大学教員の訪問予定について、大学教員から直接学校へ連絡が

必要 (どちらかに✓を入れる)

不要

授業開始時間、終了時間を必ず記入すること

事前に訪問指導教員と話し合った連絡方法で直接連絡をすること

実習校の略図は、目印になるものを示し、わかりやすく記入すること

チェックを忘れずに！

### ★最終週の時間割を確認次第、大学にFAXを送ること

(FAX 番号を間違わないように気を付けること)

〔FAX 送付期限〕

- 2週間の実習の学生：実習開始から4日目まで（土日は除く）
- 3週間の実習の学生：実習開始から9日目まで（土日は除く）

## 資料3

## 年度別教職科目履修者数

	17年度	18年度	19年度	20年度
教 職 入 門	102	86	93	102
教 育 学	116	101	95	115
教 育 史	20	14	10	16
教 育 心 理 学	246	236	188	199
特 別 支 援 教 育 概 論	72	76	56	75
教 育 行 政 論	86	78	67	70
教 育 社 会 学	22	17	18	43
英 語 科 教 育 法 I	18	20	22	12
英 語 科 教 育 法 II	17	21	21	14
社 会 科 教 育 法 I ( 地 理 歴 史 )	21	30	31	20
社 会 科 教 育 法 II ( 公 民 )	38	32	35	26
地 理 歴 史 科 教 育 法	7	5	10	8
公 民 科 教 育 法	38	31	25	26
商 業 科 教 育 法 I	0	3	0	非開講
商 業 科 教 育 法 II	0	3	0	非開講
情 報 科 教 育 法 I	0	3	0	非開講
情 報 科 教 育 法 II	0	3	0	非開講
英 語 科 教 育 実 践 指 導 I	15	18	20	12
英 語 科 教 育 実 践 指 導 II	14	19	19	12
社 会 科 教 育 実 践 指 導 I	22	25	33	18
社 会 科 教 育 実 践 指 導 II	24	24	24	11
道 徳 教 育 の 研 究	45	54	53	3
道 徳 教 育 の 理 論 と 実 践	—	—	—	9
特 別 活 動 の 研 究	64	78	56	7
特 別 活 動 ・ 総 合 的 な 学 習 時 間 の 指 導 法	—	—	—	68
教 育 方 法 論	78	89	66	75
生 活 指 導 の 研 究	60	59	63	48
教 育 相 談 論	137	134	127	117
教 職 実 践 演 習	73	48	46	53
障 害 児 教 育 実 習	14	19	19	13
教 育 実 習	73	48	47	53

\*表内の数字は年度始めの登録状況によるものである。

## 資料4

## 2020年度教育実習生数

(12/1現在)

学校区分			英文	心口	経済	経情	経法	計画	臨床	心理	科目	計
市内	公立	中学校	1						2	2		5
		高等学校	3				3		2	2	1	11
	私立	中学校										0
		高等学校	4				1		1	1		7
	合計			8	0	0	0	4	0	5	5	1
学校区分			英文	心口	経済	経情	経法	計画	臨床	心理	科目	計
市外	公立	中学校	9	1			1		3			14
		高等学校	4	1			1		1	3		10
	私立	中学校										0
		高等学校					1					1
	合計			13	2	0	0	3	0	4	3	0
特別支援学校								4	3	5		12
総計			21	2	0	0	7	4	12	13	1	60

(他 聖徳大学との連携による小学校免許プログラム  
小学校実習 8名)

## 【表記】

英文 : 文学部 英文学科  
 心口 : 文学部 心理・応用コミュニケーション学科  
 経済 : 経済学部 経済学科  
 経情 : 経済学部 経営情報学科  
 経法 : 経済学部 経済法学科  
 計画 : 社会福祉学部 福祉計画学科  
 臨床 : 社会福祉学部 福祉臨床学科  
 心理 : 社会福祉学部 福祉心理学科  
 科目 : 科目等履修生

## 資料5

## 北海道特別支援学校所在地一覧

## 【盲学校】

学 校 名	〒	所 在 地	電話番号
札幌視覚支援学校	064-8629	札幌市中央区南14条西12丁目1-1	011-561-7107
函館盲学校	040-0081	函館市田家町19-12	0138-42-3220
旭川盲学校	070-0832	旭川市旭町2条15丁目	0166-51-8101
帯広盲学校	080-2475	帯広市西25条南2丁目9-1	0155-37-2028

## 【聾学校】

学 校 名	〒	所 在 地	電話番号
北海道高等聾学校	047-0261	小樽市銭函1丁目5-1	0134-62-2624
札幌聾学校	001-0026	札幌市北区北26条西12丁目1	011-716-2979
函館聾学校	042-0941	函館市深堀町27-8	0138-52-1658
旭川聾学校	070-0865	旭川市住吉5条2丁目8-20	0166-51-6121
室蘭聾学校	050-0071	室蘭市水元町56-24	0143-44-1221
帯広聾学校	080-2475	帯広市西25条南2丁目7-8	0155-37-2017

## 【養護学校（知的障害）】

学 校 名	〒	所 在 地	電話番号
札幌高等養護学校	006-0829	札幌市手稲区手稲前田485-3	011-685-7744
札幌稲穂高等支援学校	006-0034	札幌市手稲区稲穂4条7丁目12-1	011-695-6922
豊明高等支援学校	002-8034	札幌市北区西茂戸4条1丁目1-1	011-774-2222
札幌あいの里高等支援学校	002-8074	札幌市北区あいの里4条7丁目1-1	011-770-5511
札幌養護学校	004-0069	札幌市厚別区厚別町山本751-206	011-896-1311
札幌養護学校共栄分校	061-1112	北広島市共栄274-1	011-373-6859
札幌伏見支援学校	064-8514	札幌市中央区伏見4丁目4番21号	011-520-5003
札幌伏見支援学校もなみ学園分校	005-0850	札幌市南区石山東3丁目4-1	011-591-8811
札幌みなみの杜高等支援学校	005-0012	札幌市南区真駒内上町4丁目7-1	011-596-0451
星置養護学校	006-0853	札幌市手稲区星置3条8丁目2-1	011-682-5110
星置養護学校ほしみ高等学園	006-0860	札幌市手稲区手稲山口740番地1	011-681-6500
千歳高等支援学校	066-0045	千歳市真々地2丁目3-1	0123-23-6681
白樺高等養護学校	061-1264	北広島市輪厚621-1	011-376-2353
新篠津高等養護学校	068-1115	石狩郡新篠津村第45線北13	0126-58-3280
南幌養護学校	069-0232	空知郡南幌町緑町5丁目1-1	011-378-2313
夕張高等養護学校	068-0424	夕張市千代田7-1	0123-56-5530
美唄養護学校	072-0811	美唄市東7条南3丁目1-1	0126-62-6511
雨竜高等養護学校	078-2600	雨竜郡雨竜町尾白利加92-21	0125-78-3101
小樽高等支援学校	047-0261	小樽市銭函1丁目10-1	0134-61-3400
余市養護学校	046-0023	余市郡余市町梅川町377-3	0135-23-7831
余市養護学校しりべし学園分校	048-0101	寿都郡黒松内町黒松内564	0136-72-3903
室蘭養護学校	050-0061	室蘭市八丁平3丁目7-27	0143-45-8270
苫小牧支援学校	059-1273	苫小牧市明德町3丁目10-3	
伊達高等養護学校	052-0012	伊達市松ヶ枝町105-13	0142-25-5115
平取養護学校	055-0107	沙流郡平取町本町112-7	01457-2-3178
平取養護学校静内ペテカリの園分校	056-0023	日高郡新ひだか町静内ときわ町1丁目1-35	0146-43-2918
北海道教育大学附属特別支援学校	041-0806	函館市美原3丁目48-1	0138-46-2515
北海道函館高等支援学校	041-0802	函館市石川町181番地8北海道函館稜北高等学校内	0138-34-2110
北斗高等支援学校	049-0156	北斗市中野通3丁目6-1	0138-74-3431

**【養護学校（知的障害）】**

学 校 名	〒	所 在 地	電話番号
七 飯 養 護 学 校	041-1112	亀田郡七飯町鳴川5丁目21-1	0138-65-7004
七飯養護学校おしま学園分校	049-0282	北斗市当別697-55	0138-75-2717
今金高等養護学校	049-4304	瀬棚郡今金町字今金454-1	0137-82-3121
旭川高等支援学校	070-0055	旭川市5条西5丁目	0166-29-5575
美深高等養護学校	098-2252	中川郡美深町西町25	01656-2-2155
美深高等養護学校あいべつ校	078-1403	上川郡愛別町字南町27	01658-6-5811
中札内高等養護学校	089-1345	河西郡中札内村東5条南1丁目8	0155-68-3266
中札内高等養護学校幕別分校	089-0615	中川郡幕別町南町81-1	0155-55-2121
鷹 栖 養 護 学 校	071-1233	上川郡鷹栖町北野西3条2丁目1-1	0166-87-2279
東 川 養 護 学 校	071-1410	上川郡東川町西10号北36	0166-82-4586
新得高等支援学校	081-0032	上川郡新得町西2条南7丁目2	0156-64-2020
小平高等養護学校	078-3442	留萌郡小平町字鬼鹿田代577-2	0164-57-1203
稚 内 養 護 学 校	098-6642	稚内市声問5丁目23-7	0162-26-2292
北 見 支 援 学 校	090-0807	北見市川東229-1	0157-61-0071
紋 別 高 等 養 護 学 校	099-5172	紋別市渚滑町元新1丁目152-1	0158-24-1120
紋 別 養 護 学 校	094-0021	紋別市大山町3丁目14	0158-23-9275
紋別養護学校ひまわり学園分校	099-0622	紋別郡遠軽町生田原安国302-2	0158-46-2171
日本体育大学附属高等支援学校	093-0045	網走市大曲1丁目6-1	0152-67-9141
帯 広 養 護 学 校	080-2475	帯広市西25条南2丁目7-3	0155-37-6773
釧 路 養 護 学 校	085-0054	釧路市暁町11-1	0154-25-3439
中 標 津 支 援 学 校	086-1053	標津郡中標津町東13条北7丁目15-2	0153-72-6700

**【養護学校（肢体不自由）】**

学 校 名	〒	所 在 地	電話番号
岩見沢高等養護学校	068-0014	岩見沢市東町2条8丁目960-3	0126-23-5055
真 駒 内 養 護 学 校	005-0011	札幌市南区真駒内東町2丁目2-1	011-581-1782
拓 北 養 護 学 校	002-8091	札幌市北区南あいの里3丁目1-10	011-775-2453
豊 成 養 護 学 校	005-0030	札幌市南区南30条西8丁目1-50	011-583-7810
北 翔 養 護 学 校	063-0831	札幌市西区発寒11条6丁目2-1	011-668-5161
函 館 養 護 学 校	042-0916	函館市旭岡町2	0138-50-3311
旭 川 養 護 学 校	071-8142	旭川市春光台2条1丁目1-8	0166-51-6507
網 走 養 護 学 校	099-2421	網走市呼人149番2	0152-48-2137
白 糠 養 護 学 校	088-0351	白糠郡白糠町和天別147-2	01547-2-5353

**【養護学校（病弱）】**

学 校 名	〒	所 在 地	電話番号
手稲養護学校三角山分校	063-0005	札幌市西区山の手5条8丁目1-38	011-633-3020
市立札幌山の手養護学校	063-0005	札幌市西区山の手5条8丁目1-38	011-611-7934

**【養護学校（聴覚・知的）】**

学 校 名	〒	所 在 地	電話番号
釧 路 鶴 野 支 援 学 校	084-0924	釧路市鶴野58番92号	0154-57-9011

**【養護学校（肢体不自由・病弱）】**

学 校 名	〒	所 在 地	電話番号
手 稲 養 護 学 校	006-0033	札幌市手稲区稲穂3条7丁目6-1	011-682-1722

## 資料6

## 2020年度 教育職員免許状申請件数一覧（一括申請分）

種 別		一 種									専修	合計
		英文	心コ	経済	経情	経法	計画	臨床	心理	科目	大学院	
中学校	英語	21										21
	社会		2			6		9	4			21
高等学校	英語	22										22
	地歴					5				1		6
	公民		1			5		6	8	1		21
	商業											0
	情報											0
特別支援学校							9	5	1			15
出願件数	43	3	0	0	16	0	24	17	3	0		106
実人数	22	2	0	0	6	0	9	8	2			49

## 【表記】

英文 : 文学部 英文学科  
 心コ : 文学部 心理・応用コミュニケーション学科  
 経済 : 経済学部 経済学科  
 経情 : 経済学部 経営情報学科  
 経法 : 経済学部 経済法学科  
 計画 : 社会福祉学部 福祉計画学科  
 臨床 : 社会福祉学部 福祉臨床学科  
 心理 : 社会福祉学部 福祉心理学科  
 科目 : 科目等履修生

資料 7

年度別北海道・札幌市公立学校教員採用登録数

〔登録種別〕

年度	中英	中社	高英	高地	高公	高情	高商	特別支援			小学校	計	備 考
								小	中	高			
2014年度 (平成26)	4	1	6	0	0		1	3	5	4	1	25	
2015年度 (平成27)	3	4	0	0	0		1	7	1	1	0	17	他教科1名登録
2016年度 (平成28)	1	2	5	0	0		0	3	7	7	2	27	他教科2名登録
2017年度 (平成29)	1	0	3	0	1		1	1	7	10	5	29	「中学校(数学)」 1名登録。
2018年度 (平成30)	3	2	9	0	3		0	3	9	6	4	39	
2019年度 (平成31)	2	1	5	0	0		0	1	7	5	3	24	
2020年度 (令和2)	8	3	5	0	1	0	0	1	7	13	5	43	
2021年度 (令和3)	5	0	4	0	0	0	0	0	3	6	2	20	

※年度は採用年度

※当面、高校福祉について、北海道・札幌市教員採用候補者選考検査は、実施の予定がありません。

※その他、'12年度高校商業(愛知県)1名・'15年度中学英語(島根県)1名・高校英語(神奈川県)1名・特別支援小学(兵庫県)1名・特別支援中学(大阪府)1名、'16年度小学校(神奈川県)1名・特別支援高校(千葉県)1名・特別支援中学(川崎市)1名、'17年度特別支援学校(横浜市)1名、'18年度小学校(千葉市)1名、'19年度特別支援学校(神奈川県)1名登録。

〔学科別登録数〕

( ) : 既卒で内数

		年度	英文	心口	経済	経情	経法	計画	臨床	心理	科目	大学院	その他	合計
中学英語	2020(R2)	8 (6)												8 (6)
	2021(R3)	5 (0)												5 (0)
中学社会	2020(R2)			1 (1)		1 (1)	1 (1)							3 (3)
	2021(R3)													0 (0)
高校英語	2020(R2)	5 (1)												5 (1)
	2021(R3)	4 (0)												4 (0)
高校公民	2020(R2)						1 (0)							1 (0)
	2021(R3)													0 (0)
高校商業	2020(R2)													0 (0)
	2021(R3)													0 (0)
特別支援	小	2020(R2)		1 (1)										1 (1)
		2021(R3)												0 (0)
	中	2020(R2)						1 (0)	3 (2)	1 (1)			2 (2)	7 (5)
		2021(R3)							3 (0)					3 (0)
高	2020(R2)						3 (1)	7 (3)	3 (1)					13 (5)
	2021(R3)							4 (2)	2 (0)					6 (2)
小学校	2020(R2)	3 (2)	2 (2)											5 (4)
	2021(R3)		1 (0)						1 (0)					2 (0)
合計	2020(R2)	16 (9)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	6 (2)	10 (5)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	43 (25)
	2021(R3)	9 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (2)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	20 (2)

※ 年度は採用年度

## 資料8

### 北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査の 受検者数と登録者数の状況

※年度は採用年度

区 分		年 度		2020年度（令和2）			2021年度（令和3）		
		受検者	登録者	受検倍率	受検者	登録者	受検倍率		
小 学 校		1,048	603	1.7	1,047	595	1.8		
中 学 校	国 語	153	62	2.5	142	52	2.7		
	社 会	288	57	5.1	268	42	6.4		
	数 学	198	56	3.5	180	48	3.8		
	理 科	158	62	2.5	177	48	3.7		
	英 語	183	68	2.7	175	62	2.8		
	音 楽	79	29	2.7	88	28	3.1		
	美 術	60	23	2.6	66	13	5.1		
	保 健 体 育	314	54	5.8	323	35	9.2		
	技 術	22	9	2.4	17	11	1.5		
	家 庭	33	15	2.2	44	11	4.0		
	小 計	1,488	435	3.4	1,480	350	4.2		
高 等 学 校	国 語	83	20	4.2	81	23	3.5		
	地 理 歴 史	132	37	5.9	126	10	21.0		
	公 民	88			84				
	数 学	110	14	7.9	126	13	9.7		
	理 科	122	29	4.2	101	24	4.2		
	英 語	78	39	2.0	83	46	1.8		
	音 楽	33	1	33.0	23	5	4.6		
	保 健 体 育	196	6	32.7	166	5	33.2		
	家 庭	25	7	3.6	18	6	3.0		
	情 報	19	4	4.8	19	1	19.0		
	農 業	34	6	5.7	32	10	3.2		
	工 業	20	11	1.8	20	11	1.8		
	商 業	49	15	3.3	48	1	48.0		
	看 護	4	3	1.3	0	0	—		
	水 産	2	1	2.0	3	1	3.0		
小 計	995	193	5.2	930	156	6.0			
特 別 支 援 学 校	小 学 部	150	86	1.7	137	58	2.4		
	中 学 部	171	127	2.3	133	100	2.5		
	高 等 部	121			116				
	自立活動(肢体不自由)	3	2	1.5	2	0	—		
	自立活動(言語障害)	0	0	—	0	0	—		
	小 計	445	215	2.1	388	158	2.5		
養 護 教 諭		412	188	2.2	430	94	4.6		
栄 養 教 諭		93	19	4.9	82	21	3.9		
合 計		4,481	1,653	2.7	4,357	1,374	3.2		

## 新規採用の先輩達から



田中 夢乃さん 2021年4月採用 北海道中学校英語 英文学科卒業

毎年4月、新しい教職課程履修ガイドを受け取る度に「新規採用の先輩達から」の全てのページを読破し、それが教員を志す励みになっていた私にとって、同じようにこの場で文章を執筆させていただけることを光栄に思います。この度、教員採用試験の中学校英語に合格することができましたので、それまでの道のりを綴らせていただきます。少しでも皆さんの励みになったりお役に立てたりできれば幸いです。

私が教員採用試験を受験するにあたって一番初めにつまずいたことは自己推薦書の記入です。中学生の頃から教員になりたいという意思はあったものの、「なぜ？」の答えを曖昧にしていたため、教員を志望する理由を書くのに多くの時間を要しました。「教員として子どもたちのために何をしたいのか、何をするのか」その先を考えてみると、そのために今まで自分がしてきたことや今後した方が良くと思うことが出てきて、考えが深まった気がします。

一次試験（教養検査・専門検査）は早くから沢山勉強したもん勝ちだと思います。なぜなら、特に教養（一般・教職）検査の出題範囲がかなり広いからです。私は解き直しを入念に過去問10年間分を2周し、購入した問題集を解く＋過去問に出てきた問題や答えを問題集に書き込むことで自分専用ノートを作りました。専門検査に関しては、英語を受験する方はスーパー英語もお勧めします。お金を使わずに勉強できるので、Moodleの確認ついでにスーパー英語にも立ち寄ってみてはいかがでしょうか。是非早めに対策を始め、自分に合った勉強方法を探してみてください。

二次試験ではやはり面接が大きなカギになると思います。私は自分の考えを人に伝えることが苦手だったので、聞かれそうな質問と自分の回答をひたすらノートに書き、中村さんと小島さんに面接練習をお願いしてアドバイスをいただきました。また、同じく教員採用試験を受験する友人と面接練習では何を聞かれたのか、生徒指導やいじめ・不登校などの学校問題についてどう考えるか、どう対応するかを意見交換したり、鏡の前で表情を確認しながら一人で答える練習をしたりしました。ただ、実際に面接を受けてみて個人的に一番大切だと感じたことは「ありのままの自分で自信を持って臨む」ことです。私は一回目の面接本番、緊張のあまり終始声が震え、自然と涙目になってしまいました。マスク越しでも面接官には今にも泣きだしそうな雰囲気伝わっていたと思いますが、弱気にだけはならず最後まで自分の言葉で考えや意思を伝え続けられたこと、そして2回目の面接では気持ちを切り替えて自信を持って臨めたことが、結果良かったのではないかと感じています。

最後に、教員を目指す皆さんに伝えたいことは、「教員採用試験に一人で臨まないでほしい」ということです。そのためにもまずは教職準備室に行きましょう。そこには試験を終えた先輩方の報告書や過去問などが沢山あり、非常に勉強になります。そして何より中村さんと小島さん、共に教員を目指す仲間に出会えます。中村さんと小島さんはいつでも私たちに力を貸してください、最後まで応援してください。試験前に「行ってらっしゃい」と見送ってくださるお二方、試験会場で「頑張ろうね」と言い合える仲間の存在は大変心強いものです。英語実技検査の対策や筆記試験の添削を引き受けてくださった先生方にも感謝しております。教員採用試験は一人じゃ絶対に乗り越えられません。何かあった時、困った時、辛い時、誰かに頼ってみてください。そして、色々な人に頼って、話をしたり聞いたりしながら、教員への道を突き進んでいってください。心から応援しています。



皆さんこんにちは。多くの人は初めましてだと思います。文学部英文学科の小林俊樹といます。2019年度の教員採用試験を高校英語で受験し、無事合格することができたので、ここに自分がやってきてよかったと思っていることを書いていこうと思います。

1つは、大学の教職科目と教育実習に一生懸命取り組んだことです。大学の授業では、講義に積極的に参加し、模擬授業や討論を通して多くのことを学んできました。また、教育実習では母校にてコミュニケーション英語と英語表現の両方を（無理を言って）担当させていただき、計20コマ以上の授業を実際に行いました。こういった経験を積んでいたおかげで、採用試験の二次試験に自信をもって臨むことができました。二次試験では自分の経験をもとに意見を述べる場面が多くありますが、そういう時に自分を助けてくれるのはやはり、口をついて出てくる実感のこもった経験なのではないかと思います。

2つ目は、自身が教えることになる教科に向き合ってきたこと。大学入学時からずっと塾講師のアルバイトを続けていた自分は、教科の知識・技能はいくらあっても足りないということをやというほど実感してきました。特に、大学受験を控えた高校生を指導することが多かったため、毎年冬になると大学の赤本を鞆に詰めて大学に来ては空き時間に予習をし、塾で授業をするという日々が続きました。また、教科の理解を深めるためにTOEFL, TOEICの勉強に力を入れ、塾での予習との相乗効果でスコアがガンガン上がりました。目標だったTOEFL600点、TOEIC900点を達成できたことは自分の中で大きな自信につながっています。「知っていることと教えることは別物だ」という言葉がありますが、少なくともその2段階のうち1段階は、大学在学中にかなり経験することができたと思っています。

また、このように英語の試験に取り組んできたことで得られた副産物が2つあります。

1つは、大学でTOEIC, TOEFLの講座の依頼をいただいたこと。国際ラウンジやTOEICスタディグループで、自分が実践してきた勉強法を紹介させていただきました。この経験は、人前に立って英語を教えるということをよりリアルに実感させてくれました。

もう1つは、教員採用試験において、英語の筆記試験や実技試験を免除にできたことです。北海道の教員採用試験の中高英語では、**英検1級やTOEIC860点以上を持っていると、一次試験の英語の専門試験と、二次試験の英語実技検査が免除になります。**これを読んでいる英文科の皆さんは、ぜひチャレンジしてみてください。合格がぐっと近づきます。

そして何よりも、自分の教育観に賛同し、教員になることを後押ししてくれたたくさんの人たちの存在が大きかったと感じます。しょっちゅう教育実習準備室に行っては中村さんや小島さんに愚痴を聞いてもらい、時には励ましていただきました。また、白鳥先生の研究室に突撃しては悩みを打ち明けたり、英語教育について語りあったりしていました。大学の友人たちも採用試験や教育実習の際に「がんばれ！」と言ってくれました。

ただの大学生として生きているとどうしても、教師として働くことに尻込みしてしまって自分に自信が持てなくなることがあります。「自分は本当に教師に向いているのか？」と繰り返し問いかけてみても、答えはわからないままです。それでも、「きっといい先生になるよ」と多くの人がしてくれるのを信じてみればいいと思います。「向いているかどうか」なんて実際にやってみないとわかりません。ですから、教員になろうか迷っている皆さんも、とりあえず自分を信じてその道を進んでいってください。応援しています。



大学4年生の頃、二次試験で不合格通知をいただきました。札幌市中学社会は倍率が高く、現役合格者はなかなかいないと言われていたのですが、「私なら現役合格できるだろう」と調子に乗っていました。落ちた私には何が足りなかったのか…を考える日々が始まりました。結論は「人の意見を取り入れようとせず、人を見下していた」ことが原因だろうと感じました。落ちたことで私自身を見つめ直すことができたのは、今後の人生において本当に貴重だったと思います。今回、皆さんの琴線に触れることができるかわかりませんが、合格までの道のりを執筆したいと思います。

一次試験対策はとりあえず勉強するしかありません。`努力しなきゃ結果が出ない、ことは誰もが知っていると思います。辛いかもかもしれませんが、目標達成のためには頑張るしかありません。私はよく「一次試験で落ちるのは努力不足」と何度も現場の先生方に言われました。その中でやってよかったと感じる事は最後の1ヶ月間、ひたすらセンター試験の過去問をやる事です。センター試験は各分野の複合問題ですので、実践力がついたと感じています。私は一年生から勉強していたので、多くの知識を結びつけ、構造化することができました。最後の1ヶ月の勉強法の効果で、2度目の教員採用試験は勤務校の仕事が多くてノー勉で挑まざるを得なかったですが、一次試験を突破することができました。また、今無き『中社勉強会』の存在が非常に大きかったと思います。定期的にみんなで学習する事で士気も高まり、集中して取り組むことができました。私は中社勉強会のリーダーとして、活動を進めてきました。暴虐無人なリーダーでしたが、当時の仲間は仕事を分担してレジュメやテストを作成し、協力してくれました。その協力があり、効率よく勉強をすることができました。この学習会を大切にしたいと思っています。

二次試験対策は頭ごなしに面接をやってもダメだとわかりました。一年目は卒業論文を前期のうちにあらかた書かなくてはならないことから、面接を`ただやっただけ、の状態になっていました。言われたことをそのまま答えて終わり。誰もが言いそうな一般的なことしか言っていませんでした。教員採用試験は一定のラインを越えれば受かるものではありません。顔もわからない見ず知らずの誰かと競争する試験です。同じことを言うでも、他の人よりも`優れているな、と面接官に思わせることが大切です。そのことを学んだ2年目の面接練習は死ぬ気でやりました。私が一番大変だった事は様々な先生方に面接を頼みましたが、言うてくださるアドバイスが異なることでした。各先生の今までの経験や見方が異なるので、仕方がないことです。しかし、全てのアドバイスを聞き入れると自分を失ってしまい、一般解答をする受験者の仲間入りをしてしまいます。しっかりと`自分ならどうするか、ということやここだけは譲れないということを持つことが大切です。

現在、私は北海道教育大学教職大学院に進学しています。大学院で理論を学びながら、北海道教育大学附属札幌中学校の時間講師を通して多くの経験を積んでいます。まだまだ未熟で、たくさんの先生方に迷惑をかけている日々ですが、私はそこで教員として求められる資質・能力など多くのことを学んでいます。正直、自分には向いていないと感じることもあります。しかし、たった一年で向いている、向いていないと決めるにはまだ早いと言われました。また、こんな自分でも「先生」と慕ってくれる生徒もいます。教員になる事は通過点。そのさきに待っている何を目標とするか、それを大切にしたいと思っています。



みなさん初めまして。2019年度に福祉計画学科を卒業しました腰山侑生と申します。

僕なんか、このような文章を書いてもいいのだろうか…という不安と疑問を抱えながらも、僭越ながら皆さんに向けて文章を書かせていただきます。

僕が教員という仕事を意識し始めたのは高校生の時でした。僕は世間一般には進学校と呼ばれる高校の出身で、周りのみんなは1年生の自己紹介のときにすでに自分の将来の夢について語っていました。そのとき将来の夢がなかった僕は、何か将来の目標言わなきゃ！と咄嗟に口にした職業が「教師」でした。当時はなにも考えていませんでしたが、過ごしていくうちに「教師も悪くないかも」と思い、大学の教育学部や教職課程について調べ始めたのがスタートです。高校時代を教師という仕事を意識して過ごしていくうちに「こんな先生にはなりたくない」「こんな面白い授業ができれば生徒も自分も学校が面白くなるんだらうな」と自分なりの理想が出来上がってきました。

教育大に進学を希望していた僕でしたが、センターに失敗。そうして出会ったのがこの大学の教職課程でした。この4年間を振り返ってみると、この大学の教職課程を履修したことは僕にとって大正解でした。先生方に出会えたこと、大切な仲間や先輩・後輩に出会えたこと。すべて僕の財産になりました。特に実習や専門科目が増えた3年生からの2年間はとても濃く充実していました。大学のみならず、プライベートでも交友を持つほどの仲にもなれました。

さて、僕の思い出話には飽きたと思うので、本題に入ろうと思います。全学年が目を通すこのガイドですが、包み隠さず話します。僕は教員を目指してこの大学に入ったわけですが、3年生になって模擬授業などが入ってきた途端に僕の気持ちは揺らぎました。「子どもとかかわる仕事がしたいだけで、別に授業したくないな」そう思った自分がいて、教採の二次が終わる8月までは少しか就活もしてました。ですが、教育実習や教採の結果が出るまでの期間で沢山悩み、出した結論は「大学でずっと頑張ってきたことを仕事にしよう」でした。教職課程って、他の学生の比にならないくらい大変ですやっぱ。でもそのなかで「教職を辞めよう」と思ったことはほとんどありませんでした。無意識のうちに芽生えてたこだわりなのかなって思います。そして、僕は4年生でも普通にサークル活動をしていたので、正直周りの人ほど満足に準備はできませんでした。二次対策もできず、「考えて話しても口ポットのようなっちゃうから、基盤だけ作って、あとはその場の質問に合わせて答えよう。」そう振り切って受験をしました。これが僕にはよかったのかもしれない。正直に、背伸びをせず、思いの丈を話すことができたので採用していただけたのかなと思っています。

新卒の採用として社会人1年目を迎える僕ですが、教職課程を履修していくにあたってみなさんに大切にしてほしいことがあります。それは「自分なりの教育へのこだわりや信念を持つこと」です。もちろん今すぐに見つけろというわけでもありませんし、明確な答えが出なくてもいいです。見つけた後に変わっても構いません。でも、自分が教育というものにどう向き合っていくのか。これはすごく大事だと思います。田実先生が、教員の大切なことの1つに「アップデート」という言葉を掲げています。僕も教員としてアップデートを重ねていくうちにこだわりが変わることもあるでしょう。

みなさんなりの教師像を掲げて、素敵な大学生生活を送ってください。応援しています。

教職部門の先生方、準備室の中村さん小島さん、そしてどんなときも背中を押し続けてくれた鳴海先生。皆さんに出会うことがなければ今の自分はないと思っています。この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にお世話になりました。



山本 怜奈さん 2021年4月採用 札幌市小学校 福祉臨床学科卒業

2次試験合格発表の日。震える手で教育委員会のHPから受験番号を見つけ、中村さんに嬉し泣きしながら電話したことは、この先一生忘れることのない出来事だと思います。

私は、教師として働く兄姉の影響を受け、また、小学校時代の恩師との出会いに影響を受け、幼いころから小学校教員を志望していました。高校3年生の頃、教育大を目指していましたが、センター試験に失敗。そうして出会ったのが、この大学の教職課程でした。しかし、北星学園大学で小学校教員免許を取るのには容易ではなく、北星の学費に加え、プログラム参加のために多くのお金が必要でした。大学受験失敗による多くの後悔から、進路に悩む日々が続きました。そんな中、高校の進路指導の先生には、「教育大でなければ教員になることはできない」というようなことを言われたこともありました。しかし、とにかく「現役合格」。それを北星学園大学で達成するという目標から、この大学への入学を決めました。4年間を振り返った今、この大学で学ぶことができたことに誇りを感じています。

教員採用試験に向けて、まず始めたのが「学生ボランティア」として小学校で児童の学習支援をするボランティア活動でした。実際の教育現場をみることで、子どもたちと関わることは自らの経験になることはもちろんですが、正直、面接で話せるネタを作るという理由でもありました。しかし、続けていくうちに、なぜ教員になりたいのか、教員としてどんなことをしたいのか、今までの自分は漠然としていたことに気づき、少しずつですが自分なりにその答えを見つけることができました。今、何をすべきなのか悩んでいるのなら、ぜひ、学生ボランティアとしての活動を始めてみてください。

私が教員採用試験を振り返って皆さんに伝えたいことは、2つあります。

1つ目に、自分に、誘惑に、負けないことです。1次試験も2次試験も、悔いが残らぬように自分が納得いくまで徹底的に対策しました。そのため、試験前日にはやりきったぞと胸を張って望むことができました。遊びたい気持ちや我慢して、勉強へのメンタルに持っていくのには苦労しました。しんどい時もありましたが、試験が終わったあとすっきり遊ぶために今頑張る！そんな気持ちで頑張りました。試験前よりも強い精神力を身につけることができたと思います。そして、合格が分かった時にまず感じたのが、もうあんな思いしなくていいんだ…でした。「努力は必ず報われる」という言葉がありますが、教員として新たな一歩を踏み出すことが決まった今、こういうことなのかと初めて感じた経験でした。

2つ目に、教職実習準備室に通ってみてください。準備室には、「教員を目指す仲間」と「支えてくれる心強い先生方」がいます。これまでの試験の情報、教育実習の体験報告等、先輩が残してくださった情報がたくさんあります。教員採用試験の準備は想像よりも大変です。中村さん、小島さん、教職の先生方には、たくさんお世話になりました。仲間と切磋琢磨し、先生方に支えていただいたからこそ、今の自分があると思います。準備室は、自分らしくいられる場所であり、大好きな場所です。2次試験の直前、小島さんがノートの隅に「怜奈ちゃんらしく」と書いてくれました。その時自分が1番忘れかけていた大切なことに気づかせてくれる場所です。今度はその大好きな場所に、卒業生として行くのが楽しみです。

4月からの勤務に不安はありますが、「自分らしく」頑張ります。

私の経験が、少しでも皆さんのお役に立てれば幸いです。応援しています！



皆さんこんにちは。福祉臨床学科卒業の土田彩織と申します。ここからはなぜ、私が教員という道を考え始めたのか、どうして特別支援学校高等部を受験しようと思ったのか、また教員採用試験にむけての勉強を簡単ではありますが、お話をさせていただきます。

そもそも、私が教員を考え始めたのは中学生の頃でした。その頃はどのような校種の教員として働きたいかは全く考えていませんでしたが、自分がおかれた環境から「教員」という職業に興味をもち始めます。そのおかれた環境というのも、私の身の回り(家族・友人)で障がいをかかえた人がいたというところが出発点かと思えます。私が小中学生の時は「障がい」というだけで差別的な目で見られていたり、対等に扱ってもらえることが少ないなど厳しい現状だったと思います。また、今もそのような現状は完全になくなったわけではありません。その頃は今ほどしっかり考えてはいなかったと思いますが、「障がいのある人もない人も一緒に過ごすことができたり、学べるような環境を作りたい」と思ったことが大きなきっかけです。また、私は社会(特に歴史)が好きだったので、好きなことを仕事にできればいいのではないかと思い教員を考えました。

次に、なぜ特別支援学校高等部を受験しようと思ったかについてです。私は元々、小学校の教員を目指していました。そんな私の気持ちが大きく揺らいだのが大学3年生の時の特別支援学校高等部での実習でした。その時の実習で初めて現場を見たので、右も左もよくわからないまま実習をしていました。ですが、実習先で見た子どもたちへの教員の関わり方や実習先の子どもの様子が決め手となりました。私は1年生のクラスでの実習でした。彼らは1年生の頃から就職に向けたカリキュラムで学んでいます。そこでの先生方の関わり方や指導の在り方として、「生徒たちが社会に出て困らないように」ということや「生徒たちが自立して生活できるように」といったことが念頭に置かれた指導だったかと思えます。そのため、挨拶や返事などのいわゆる「当たり前」のことから、技術的な面まで多岐にわたる指導を行っていました。そこで、「高校3年間が就職前に学べる最後のチャンスではないか」と実習を通じて感じ、そのような大切な学びのお手伝いがしたいという気持ちから高等部を受験しようと思いました。

また、具体的な校種が自分の中で決まってからはひたすら猛勉強の日々でした。その勉強も時間が限られているうえに内容もとても多いです。だからこそいかに効率的に、どのように勉強するかを考えて計画的に取り組みました。例えば長期休暇の春休みに基礎固め、4月から試験当日までは実践的な問題に取り組むことで春休みまでに学んだ基礎が身についているか、どの知識が抜けているかを確認するなど、自分なりに工夫して取り組みました。また、無事に二次試験に進むことができましたが、教育実習と試験日程がかぶっていたりと大変なことも多かったです。ですが、「教師になりたい!」という強い思いから実習でどんなに大変で疲れていても、面接対策や筆記試験対策などぬかりなく取り組みました。それにより、無事に教員採用試験の合格を掴むことができましたと思います。

最後となりましたが、やはり自分を動かすのは強い気持ちや思いではないかと思えます。みなさんもどんな先生になりたいか、将来どんな自分になっていたいのかなどを想像しながら、今後の学生生活を充実したものにしてください。応援しています!



「でもしか先生」という言葉を聞いたことがありますか。1950～70年代に志願者のほとんどが教師になれる時代がありました。その時期に、「教師でもやろう」、「教師にしかねない」という消極的な理由で職に就いた先生のことです。最近、教師の仕事はとても忙しく、ブラックであることが話題になっています。そのため、教員採用試験の倍率が下がり、合格しやすくなっているのが事実です。実際に、「合格するつもりなかったのに」、「どうしよう、合格してしまった」と言って採用試験の報告をしている学生もいました。私たちの世代が、次の「でもしか先生」となってしまうのは、そう遠い話ではないなと感じています。

おそらく、この教職履修ガイドを手に入れているということは、教職に少しでも興味があるのだと思います。では、「なぜ教師になりたいか?」という問いに答えられますか。素敵な先生に出会ったから、子どもが好きだから、社会・英語が好きだから…。まだ、教職へ強い思いは無くても、ハッキリとした言葉にはできなくても、なんとなくなら答えられる人は多いのではないのでしょうか。では、「なぜ中学校ではなく高校なのか?…」といった問いではどうでしょう。

私は、大学1年生の頃、小学校の免許取得を目指すか迷っていました。高校の免許なんて取る気ゼロ。教職や同じ学科の先輩に説得されて、面倒だなあと思いながら、一応、高校の免許も取れるようにしていました。結局、小学校の免許は取りませんでした。3年生の12月まで特別支援学校の中学部で受験しようと考えていました。理由は簡単、「年齢が低い子どもたちの方がかわいい」と思ったから。ですが、見ての通り、私は特別支援学校の高等部で受験し合格を勝ち取っています。なぜだと思いますか?

私はボランティアや実習などを通して、障害の有無関係なく、小・中・高、それぞれの子どもたちと関わってきました。年齢も障害も様々な子どもたちと関わって、気づいたことがあります。それは、「どんな子どもでも、関わった子どもたちはみんなかわいい!」ということです。そのことにやっと気づいたのが、3年生12月の教育実習でした。今まで出会った子どもたちのことや自分のやりたいこと、向いていることを考えて、悩んで…。その結果、ギリギリの時期に校種を変更することになったのです。

私は中学部の採用試験対策しかしていなかったため、急ピッチで高等部の対策をすることになりました。とても大変でしたが、試験勉強がツライ時、将来が不安な時、諦めそうになった時…支えてくれたのは、今まで出会った子どもたちでした。

冒頭にも話しましたが、教師はとても忙しい仕事だと思います。実際に現場を見てみて、痛感しました。ですが、たくさんの子どもたちと出会ったことや現場の先生とも直接話したことで、教師という仕事のすばらしさにも気づけたのも事実です。子どもたちのかわいさ、教師のやりがい、これは実際に見て関わってみないと分からないと思います。

もし、教師になりたいという気持ちがあるのなら、今すぐに、たくさんの子どもたちや先生方に会いに行ってみてください。そして、「こんな教師になりたい!」という素敵な感情が芽生えることを願っています。



どちらかというと周りよりも短期戦で臨んだ私が書いていいのかと不安に思いますが、少しでも参考になればいいなという気持ちで綴りたいと思います。

まず、神奈川県を受験するにあたり、神奈川県の過去問をたくさん解きました。各自治体によって出題傾向が異なるので、その把握を第一に行いました。現時点で自分がどれだけ解けるのかを把握するにも良い方法だと思います。特別支援学校の受験は、基礎免許の科目の試験がないので、その分、特別支援の問題をどれだけこなしたかが大切になると思います。

また、神奈川県の試験は、北海道の試験にはない小論文と模擬授業、集団討論があります。北海道と神奈川県というように、複数の自治体を受験する場合はかなりタイトなスケジュールになると思います。違う試験科目がある場合は、尚更大変になります。短い期間の中で、1人で乗り切るのは、やはり厳しいものがあるのでいろんな先生方に見ていただくことが大切だと思います。面接練習や小論文の添削回数を重ねることで、自分が伝えたいことがまとまり、言葉も少しずつ綺麗な文章としてなっていくからです。そして、教員として先輩である先生方の多様な視点から、アドバイスをいただくことが出来るからです。

個人面接では、「なぜ、神奈川県を受験しようとしたのか」は必ず聞かれます。その質問に戸惑うことなく答えられるように、神奈川県の教育目標、神奈川県が推進していることは最低限の確認必須事項です。私は福祉心理学科ということもあり、共生社会や自己肯定感を高めるというキーワードに強く共感したことをお話ししました。

集団討論では、まず、自分の模擬授業で思ったことを決められた時間内で話します。その後、与えられたテーマについて討論を行います。自分から意見を話そうとしなければ、どんどん時間は過ぎていきます。どれだけ輪の中に入っていけるのかが大切だと思います。

あとは体調管理です。私が受験した年は、一次試験が6月、二次試験が8月でした。両時期とも北海道では考えられないくらいの湿度と暑さです。一泊二日にも限らず、バテていました。暑さ対策も万全にした方が自分の力を全部発揮できると思います。

試験当日は、きっと、周りの受験者がかなり優秀な人物に見えると思います。実際、私が模擬面接と集団討論を行ったグループは、私以外の全員が現役で教員をしている方だったので、より一層そのように感じました。作ってくる教材や、授業展開の仕方、全てに圧倒されていました。でも、どんなに不安があっても試験は始まります。だったら、周りのことを気にしないで自分が思ったようにやり切った方がいいと切り替えて試験に臨みました。ある程度、気持ちを振り切っていくのは本当に大切だなと実感した瞬間でもありました。慣れない土地、気候、服装で受験するのは、本当に本当に不安になることが多いと思いますが、最終的に自分を信じられるのは自分だけです。ここまでこんなにやってきた！頑張ってきた！という過程が必ず勇気をくれます。努力したことは必ず自分の糧になります。試験に向けて勉強をしていると、今は苦しい時期かもしれませんが、しんどいなって思ったら少しくらい休んだって大丈夫。試験当日だけで全力疾走が出来ればいいんです。一歩ずつでも進んでいるなら何も心配はいらないと思います。教員を目指す皆さんが、最後の最後のまで力を出しきれるように願っています。



小川 真央さん 北星学園女子中学高等学校 英語科教諭

私は2018年から母校である北星学園女子中学高等学校で勤務させていただくことになり、もうすぐ2年目が終了しようとしています。

私は現在中学1年生の担任を任されているのですが、生徒との毎日には本当にあつという間に過ぎていきます。

大まかな一日の流れとしては、本校はキリスト教主義の学校なので、朝学校に来てまず礼拝を行ってから一日がスタートします。そして、授業が終わると終礼を行い、放課後は部活や保護者・生徒対応にあたるといった毎日です。基本的には、大体1日に3～4コマの授業が入っており、その他に学年や教科の会議が組み込まれています。空き時間には生徒が毎日提出する手帳の確認や、授業準備、学級通信の作成を行います。昼休みなども生徒が職員室に質問や相談に来るので、お昼ご飯は空き時間に食べることも多いです。このように、毎日慌ただしく過ごしていますが、この2年間、生徒達と日々を過ごしていく中で、綺麗ごとではなく、「この仕事をやめたい」と思ったことは一度もありません。やはりどれだけ忙しくても、疲れていても、子供たちの顔を見るとすべて吹き飛んでしまうのがこの仕事の良いところだと思います。

私が教員として働いていく中で一番に感じることは、「正しい教師像はない」ということです。

たしかに、「こういう教員になりたい」という強い思いは持つておくべきです。ですが、誰かの真似をそのままするのはなく、周りの先輩方を見て、真似したいところを吸収し、自分だけの教員のスタイルを確立することが大事だと思います。

そして、やはり大前提として「生徒に真っ向からぶつかる」ということが生徒と関係を築くには欠かせないと感じています。当たり前ですが、生徒は一人ひとり性格も違えば、考え方もすべて違います。だからこそ、対応の仕方に正解はありません。特に最初のうちは子供たちは緊張して、自分の本来の姿を出そうとはせず、時間をかける中で少しずつ自分を出していきます。ですので、毎日のコミュニケーションを通して長い時間向き合っていくことが大切だと思います。

学校生活は毎日楽しいだけではありません。友達同士で喧嘩をすることもあれば、クラスの問題で悩みながら話し合いをすることもあります。この1年を振り返って考えてみるだけでも、本当にたくさんのことがありました。ですが、これらの困難は必ず生徒たちの糧になると信じています。一つ一つの困難を乗り越えるたびに、彼らのそれぞれの成長が見られます。7月には学校祭があり、各クラスで演劇を行いました。1年生は特に最初は何をして良いのか分からず困っていましたが、その度に各担当リーダーを筆頭に話し合い、どのような方向に進むべきか考えてきました。そしてこれを何度も繰り返し、最終的にはとても満足のいく演劇を行うことが出来ました。生徒たちが自分たちだけの力で努力し、何かを達成する、という過程にはとても心を動かされます。

中学・高校という人生の中で一番成長を遂げる時期に目の前で生徒たちを見守ることが出来るというのは本当に幸せなことです。もちろん大変な時もありますが、この子たちと一喜一憂しながら過ごす毎日が幸せでたまりません。これからこの子たちが6年かけてどのように成長するのかワクワクしています。

教員は教科指導と生徒指導、どちらか片方だけが出来ても決してうまくいきません。卒業までに様々な経験をしておくと、生徒たちに伝えられることが一気に多くなりますので、勉強もプライベートも100%の力で楽しんでみてください。皆さんの夢が叶うことを心から願っています。

(2018年 文学部 英文学科卒業)



## 上見 綾子さん 札幌市立柏中学校 英語科教諭

「教員の仕事は、体力勝負である」。学生時代にこんな言葉を聞いたことがあります。

実際に教師となって働いてみると、一日の生活にはほとんど休む暇はなく、日中は授業に追われ、放課後も委員会や部活の指導、突然生徒指導が入ることもあり、気がつけばあっという間に夜…という日々。さらに、土日は部活でほとんど休みがない。ある程度覚悟はしていたものの、教員の仕事は予想以上に過酷でした。教員になりたての頃は仕事の要領もつかめず、毎日夜中まで学校で過ごしたり、寝る時間を削って授業準備をしたりもしていました。

たとえ寝不足で疲れていても、生徒からのちょっとした一言で疲れが吹き飛んでしまうのが自分でも不思議です。普段指導に苦勞している生徒から、帰り際に「先生、さようなら!」と言われただけで元気がわきます。本当に生徒の力はすごいものです。だからこそ、今までこの仕事を続けてこられているのだと思います。

正採用として現在勤務している学校に来てから、あっという間に5年の月日が経ちました。初めの頃は何もかもわからないことだらけで、失敗の連続でした。生徒や保護者とうまく関われなくて悩んだり、自分が理想とする授業ができなかったりして自信をなくすこともありました。そんな時、周りの先生達に支えられ、たくさんのことを教わりました。

その中で学んだことは、「あきらめずに生徒と向き合うこと」です。どうせ言っても伝わらないと思ってあきらめたり、気になったことを見過ごしたりするのではなく、思ったことは伝える。繰り返し言い続ける。すぐには効果が出ないかもしれないけれど、一生懸命伝えようとすれば、生徒にはいつか伝わるということを学びました。もちろん今でも失敗したり悩んだりすることはありますが、困難は自分を成長させてくれるチャンスだと思うようにしています。そして、学生時代に準備室で出会った仲間は、今でも悩みを分かちあえる大切な存在です。

学校では、色々な場面で感動することがたくさんあります。特に、学級で取り組む合唱コンクール。クラスには、歌うことが大好きな生徒と、歌うことが大嫌いな生徒がいます。だけど、みんなで歌うのです。クラスが一つにまとまるまでの一ヶ月間は、本当に苦しいものです。リーダー達は、なんとかクラスをまとめるために奮闘します。少しずつ、他の生徒がそれに応えるようになり、合唱が変わってきます。練習で苦しんだ分、本番で学級が一つになって一生懸命歌う姿は、毎年涙なしではいられません。

現在私は3年生の担任をさせていただいており、この春初めて卒業生を送り出します。教員になってから、卒業生を出すことが夢でした。今の学年は1年生のときから担任をもたせていただいたので、3年間にわたって生徒の成長を見られたことは、大変貴重な経験となりました。中学校の3年間は人生の中ではとても短いですが、思春期の中で子どもから大人へと成長する、とても変化の大きい3年間です。彼らの、そんな貴重な時間を共に過ごせることはとてもありがたいことだと思います。そんな彼らに、自分は何ができるか、何が必要なのかを常に考え、あらゆる方法を使ってサポートしていくのが、私の仕事だと思います。

次の夢は、卒業していった生徒達と、いつか再会できる日を迎えることです。その日が来るまで、これからも学ぶ姿勢を忘れず、目の前にいる生徒に一生懸命向き合っていこうと思います。

(2008年 文学部 英文学科卒業)



渡邊 里佳さん 北海道札幌啓北商業高等学校 英語科教諭

北星は、自分にとっての原点です。その大切な母校で教員を目指す皆さんにどんなメッセージを届けられるか考えた時、初めに浮かんだのは、卒業式の光景でした。

現在勤務する啓北商業高等学校で、期限付き教員から本採用となり、在籍が12年となりました。その間に産休・育休を取得し、在籍年数は重ねましたが、教員としての経験は未熟です。この12年間では、1度だけ3年を通じて担任を持ちました。

1年B組の担任になったのは、本採用になって2年目。クラスの名簿と写真を片手に入学式までに名前を覚えようとしていたことや、気持ちよく高校生活の1日目を過ごして欲しいと念入りに教室を掃除したことが思い出されます。しかし、入学式のこと是一切覚えていません。誰よりも自分が緊張していました。

その日からノンストップで担任業務が始まりました。朝7時に家を出て、朝のSHRが始まるまでに朝自習の準備や学年団での打ち合わせがあります。1日平均3～4コマの授業を担当します。空き時間は、保護者への連絡や検定試験の対策、各行事の準備、生徒の提出書類の整理やデータ入力など、TO DO リストには次々と新しい項目が追加されていきます。あっという間に放課後です。掃除、学級日誌の記入や出席簿の確認ができれば、部活の指導へとシフトします。放課後が生徒とゆっくり向き合う貴重な時間となるため、教材研究や事務的な仕事は、夕食後自宅で行うことも多くありました。

このように書き出してみると、淡々とルーティーンワークをこなしているようにも見えますが、初めて担任を持ったこの3年間は、泣き笑い、怒り喜び、いろいろな心がぐいぐいと動かされた日々でした。ある時は、人間関係で悩んでいる生徒と音楽室の隅で箱ティッシュを抱えながら話をしました。ある時は、学校を飛び出した生徒を上靴のまま追いかけて、教室に連れ帰ったこともありました。課題を出さない生徒や、小テストで合格点に届かない生徒には、特別レッスンを行います。英語が苦手な生徒は、廊下で私の顔を見るといつも苦笑いで挨拶してくれました。

教員としての仕事にゴールはありません。目の前にいる生徒とのやりとりにも正解はありません。だから、悩みます。何をするにも時間がかかります。この3年間で、自分は教員に向いてない、生徒にとって何の力にもなっていないと考え、卒業生を出したら教員をやめようと思っていました。その代わり、答えが何か見えていなくても精一杯やりきろうという気持ちでいました。

3年A組担任としての卒業式。体育館に入る時のあの光景は、今でも映画のワンシーンのように蘇ります。誰も座っていない座席に、1列で入場した生徒たちが次々と着席していきます。一人ひとりと呼名し、卒業証書を授与されると降壇しながら爽やかな笑顔で私に目を合わせてくれます。仲間と卒業式を迎え、喜びに満ちた顔や卒業後の未来への希望で溢れた表情や、どの生徒もキラキラ輝いていました。

卒業式の後、ひとりの生徒がメールをくれました。「先生は先生でいて下さい。嫌がる生徒もいたけど、生徒としっかり向き合える人情味のある先生が、俺的には最高の担任でした！」私は不器用で、教員としても、ひとりの人間としても未完成です。それでも、生徒がこんなメッセージを最後に伝えてくれた。このことは大きな心の支えになっています。

北星は夢が叶う場所です。学生時代も、教員になった今も北星から繋がる出会いのおかげで今の自分があるように思います。北星で教員を目指す皆さん。皆さんが願うそれぞれの夢が叶えられますように。

(2002年 文学部 英文学科卒業)



## 佐々木 亮さん 幌延町立幌延中学校 社会科教諭

私が教員になって、もうすぐ7年になります。現在は2校目でいきなりの3学年担任を任せられ、忙しいながらも充実した日々を送っています。

私が教員を志望した理由は、「社会科を通して子どもを育てたい!」という立派なものではなく、自分の経験から「部活動(スポーツ)を通して子どもに何かを学んでほしい、感じてほしい」という思いが一番にありました。そのため、学生時代には実習準備室の小島さんからよく「教科指導と生徒指導が教育の両輪なんだよ!」と言われたものです。

現場で子どもたちと向き合っていると、先の小島さんの言葉の意味を痛感させられます。教師は教科指導と生徒指導のどちらか一方に力を注いでいても、なかなか上手くいきません。それどころか、どちらかを疎かにすると次第にもう一方も思うようになくなっていきます。ただしこれは、逆の言い方をすれば「どちらも頑張れば必ず軌道に乗り出す」とも言えます。

小島さんの言葉を胸に現場で子どもたちと関わる中で、この両輪をより安定させる重要な要素に気付かされました。それは、子どもとの「信頼関係」です。教科指導と生徒指導両方に力を入れることは、この両輪を結ぶ「信頼関係」という軸を丈夫にしていきます。軸が丈夫になると、この両輪はさらに安定しながら前進することができます。

信頼関係が自分の教育の軸になるということに行き着いて以来、私はとにかく何でも生徒と一緒にやることを意識しています。というのも、経験の少ない私にすぐに実践できたことは、時間の限り生徒と話し、笑い、動くことくらいだったからです。ですが、これを続けるうちに、気軽に話しかけてくれるようになる生徒が増えたり、私の言葉がすんなりと生徒に入ることが多くなったように感じられます。同時に授業でも生徒からの言葉を引き出しやすくなりました。これらのことが結果として、自分が一番力を入れたかった部活動指導も充実し、教師という職業を「楽しい」と感じながら働くことができます。

北星で教員を目指すみなさんに、まだまだ経験が浅い私が大層なことは言えません。ただ1つだけお伝えできることは、私が現場で働き始めて何度も感じたのが「学生のうちにもっと色々な事を経験しておけば良かった!」ということです。私は現任校でスキーや水泳の指導を任せられたこともあれば、技術科の木工作業の指導を任せられたこともありました。学校祭ではYOSAKOIソーランの指導も行いました。YOSAKOIはたまたま学生時代に自分が経験していたから良かったものの、その経験が無かったとしたら、とても辛い指導だったと思います。

中学校社会科で採用されたからといって教科指導と生徒指導だけをしていれば良いという学校はおそらくありません。教員を目指す気持ちがあるみなさんには、学生でいる間にぜひ、サークル活動やアルバイトをはじめ、色々な経験をして現場に出てほしいと思います。その経験が、生徒との「信頼関係」をつくることにも必ず活かされます。

将来みなさんと一緒に働ける日を今から楽しみにしています。

(2009年 文学部 心理・応用コミュニケーション学科卒業)



触澤 和樹さん 北海道千歳北陽高等学校 地歴公民科教諭

自分が高校教員として採用されたのが、2003年4月のことです。現在の勤務校が3校目になります。それぞれの学校で、担任を経験し、これまでに各校で卒業担任として卒業生を送り出してきました。ここまでの教員生活の4分の3を「担任」として過ごしてきました。

自分は、大学卒業と同時に教職に就けたわけではありません。採用試験は4回受験しました。その間、大学へ科目等履修生として通いつつ、時間講師を10カ月、その後は、期限付教員を2年間務めました。遠回りはしましたが、今となってはこの経験は自分にとってはプラスであったと感じています。

期限付教員の経験があったとはいえ、特に、採用1年目は、教科指導、生徒指導が思うようにいかず、教員を本当に続けていけるのかどうかと思い悩むことも多くありました。しかし、2年目から担任を持ち始めたことで、仕事に対する視野が大きく広がっていきました。初任校が工業高校で、クラス替えがなかったので、入学から卒業までの3年間を生徒たちと共に歩むことができました。日々の授業、HR、行事を過ごしていく中で、生徒だけではなく自分自身も大きく成長させてもらった3年間となりました。

その後もそれぞれの学校で担任を経験しましたが、生徒と第一線で関わることができるのが「担任」であると感じています。卒業後も連絡をくれたり、学校に顔を出しに来てくれたりして、近況を伝えてくれます。社会人として日々成長していく姿を見られるのも、教員、特に、「担任」としての醍醐味と言えるかもしれません。

もちろん担任だけではなく、部活動や生徒会、授業、行事等、生徒たちと関わる場面はいくつもあります。そういった一つひとつの生徒との関わりを大事にしていくことがこの仕事では本当に大切なように感じます。その関わりが生徒の成長だけではなく、自分自身の成長にもつながっていくように思います。

経験年数が上がるにつれて、引き出しは増えてはいきますが、求められていくものも変化していきます。そのため、何年務めても、壁にぶちあたります。その度に考えさせられたり、学ぶことがたくさんあります。

以前に聞いた、ある講話で、「大人になって夢をかなえられる人は、勉強ができるからやりたいことができるのではなく、人から「あのいい人だよね」、「あの人の夢を応援してあげたいよね」と思ってもらえた人が夢をかなえているように思います。」という話を聞いたことがあります。

これから教員を目指す皆さんにとっては、まずは、教員になるという夢をかなえるために勉強ですが、夢が職業に変わった後も、勉強の日々は続いていきます。どんな教員になりたいか、生徒とどう関わっていきたいか、教員として生徒たちに何を伝えていきたいかという自分の思いや気持ちを学生のうちから意識して下さい。そして、大学生のときの時間や人との出会い、関わりを大切に、自分の人間性をどんどん高めていって下さい。その意識が夢をかなえるためには必要です。そのにじみ出てくる意識や姿勢がきっと色々な人たちからの支えや輪につながって、夢をかなえることにもつながっていくのだと思います。皆さんも教員になる夢を是非ともかなえてほしいと願っています。

この文章を読んで、教員を志す後輩の皆さんに何か感じてもらえるものがあれば幸いです。北星学園大学からひとりでも多く教員として現場に来てくれることを楽しみにしています。

(2000年 経済学部 経済学科卒業)



## 中森 知美さん 札幌市立澄川中学校 特別支援学級

私は現在、札幌市立澄川中学校の特別支援学級の担任をしています。特別支援学級は、生徒の一人ひとりの実態に合わせて個別に教育課程を編成することができます。実態に合わせて授業や行事を考えることはとても面白くやりがいがあります。その分毎時間の授業を一から考えるため、時間もかかります。生徒の将来を意識しながら、中学校三年間でどのような力を育むとよいかを日々考えています。

正採用になるまで4回採用試験を受けました。私にとっては必要な年月だったのだと思います。その間、養護学校、中学校の通級指導教室、社会福祉協議会の職員等、色々な仕事を経験しました。全ての職場が1年以下の在職期間でした。ようやく慣れたと思ったら次の職場でした。

私が皆さんに言いたいことは、「必ず正採用を目指してください」ということです。私は在学時、どこかに「落ちても期限付きがあるから」という甘い考えがありました。しかし、期限付き教諭では生徒に長い目で教育することができません。皆さんには「必ず現役合格するんだ」という強い意志をもって取り組んでほしいです。

中学校の特別支援学級の現場に来て学んだことは、生徒にあきらめずに向き合い続けることです。生徒との関係を築けず、どうしたらよいかわからずに悩むことがありました。それでも毎日あきらめませんでした。すると、少しずつ生徒に変化が見られました。これから先、どんな一面を見せてくれるのだろうと思うと、とても楽しみです。教師には、一日とて同じ日はありません。毎日生徒の成長と向き合える素晴らしい仕事です。生身の人間を相手にしているからこそ喜びも悲しみも大きいです。悩んだときは、職場の周りの教師、同期採用の仲間、友人など色々な人に相談することで、気持ちを軽くしてもらっています。皆さんも今いる仲間を大切にしてください。毎日あきらめずに向き合うためには、エネルギー補給が必要です。

それから、これほどまで保護者との関係が重要だとは思いませんでした。今は様々な困難を抱えた家庭も多く、保護者支援も含めての教育となっているのが現実です。「授業を教える」だけでは終わらないのが、特別支援学級です。自分の経験からは想像できないような出来事もありました。実際に様々な関係機関と連絡を取り合うこともよくあります。

大学生の皆さんは、学生生活を大いに楽しみ、幅広い経験をしてください。学生時代に、もっと経験していれば良かったと思うことがたくさんあります。ぜひ得意分野をたくさん作ってください。また、現場に出ても北星学園大学の同期や先輩は心強い存在です。私も初めて教師の現場に出たとき、北星の先輩にお世話になりました。教職実習準備室の仲間とは今でもつながりがあります。仲間と仕事で一緒になるときは、それだけで嬉しくなります。ぜひ準備室に通いつめてください。きっと皆さんの教師人生の支えとなります。

(2007年 社会福祉学部 福祉計画学科卒業)



## 佐藤麻里子さん 市立札幌豊明高等支援学校

北星学園大学経済学部を卒業しました。在学中から福祉や教育に関心があり、卒業後、期限付き採用で肢体不自由の特別支援学校に勤めました。これまで、働きながら通信教育で特別支援の免許を取得したり、大学院に通うなどして特別支援教育について学んでいます。

現在は、市立札幌豊明高等支援学校で教員を務めています。現在、仕事の中心は「進路指導部」です。「特別支援学校における進路って？」と感じる方もいると思うので説明します。障がいのある方が高等支援学校を卒業後にどこに通い、どのように生活をしていくか、それを在学中に決めていく必要があります。当たり前のことですが、就きたい仕事、希望する生活スタイルは一人ひとり違います。進路指導部は一人ひとりの希望やできる事に応じて適した仕事を探したり、実際にその仕事をやってみる機会（現場実習と言います）を設定していきます。現場実習を通して、適性があるかどうか、継続して働くことができるかなどを本人・保護者、担任等と相談しながら見極めていくことになります。

卒業後はすぐに社会人として生活をしていく生徒たちを目の前に、在学中にどのような学びが必要なかを常に考えながら仕事をしています。在学中に身につけて欲しい力の一つは、「相談する」力だと思っています。卒業後は、社会に出てたくさんの人達のサポートを受けながら生活することになります。その時に大切なことは「相談する」ことです。自分でできることを増やしながら、必要な場面ではしっかりとサポートを受けることです。相談するためには、話を聞いてくれるという「他の人への信頼」が必要です。そのような信頼感がなければ、自分から相談しようとは思えないのではないのでしょうか。在学中から信頼感を持てるよう、話をしたい生徒がいたときには静かな気持ちで、本人の言葉をさえぎらずに聞くということを大切にしています。時に難しさを感じることもあります。また生徒の言動が「どうしてだろう？」と疑問に感じることもあります。私にとって生徒と接したときに感じた難しさや疑問がとても大切です。分からないからこそ丁寧に生徒の話を聞きたいと思います。また、障がい特性や思春期・青年期の理解など教育における専門性を高めたいと感じています。

喜びを感じるのは、様々な出来事と向き合いながら一生懸命仕事に取り組んでいたり、活躍している卒業生の姿を見るときです。介護現場、スーパーなどそれぞれの場所で卒業生の良さや力が認められています。また、卒業生から相談の電話がかかってくることもあります。一人暮らしにチャレンジした卒業生からの報告や、職場でトラブルが起きたときの相談などです。社会に出た卒業生を通して在学中の支援の在り方を振り返ります。改めて心から応援したい気持ちになります。

教員としての私の毎日は初任者のころと変わらず「学び」の時間です。焦らず、ひとつひとつ勉強していくこと、他の教員と課題を共有しながらより良い方向性を探ることを継続したいです。そのことで、少しでも生徒の「今の生活」、「将来の生活」を応援できる教員でありたいです。

これまでも現在も、北星学園を卒業した多くの方たちと一緒に仕事をさせてもらっています。生徒や授業について話し合ったり、アドバイスしてもらったり、とても心強い存在です。みなさんと一緒にお仕事できることを楽しみにしています。

(2003年 経済学部 経済学科卒業)

## 令和2年度 小学校教員資格認定試験 受験案内

## 1. 試験の概要

## I 小学校教員資格認定試験制度の趣旨

文部科学省において、広く一般社会から学校教育へ招致するにふさわしい人材を求めため、職業生活や自己研修などにより教員として必要な資質、能力を身に付けた方が教員免許状を取得する方策として小学校教員資格認定試験を実施しています。平成30年度から試験実施事務を独立行政法人教職員支援機構が行っています。

小学校教員資格認定試験は、受験者の学力等が大学又は短期大学などにおいて小学校教諭の二種免許状を取得した者と同等の水準に達しているかどうかを判定するものです。この認定試験に合格した者は、都道府県教育委員会に申請すると、小学校教諭の二種免許状が授与されます。

## II 取得できる普通免許状の種類

小学校教諭二種免許状

## III 受験資格

高等学校を卒業した者、その他大学(短期大学及び文部科学大臣の指定する教員養成機関を含む。)に入学する資格を有する者で、平成12年4月1日までに生まれたもの

(注) 「文部科学大臣の指定する教員養成機関(以下、指定機関)に入学する資格を有する者」は、教員免許状を取得できる学科等に入学する資格を有する者のみ該当します。なお、指定機関の学科等の一覧は文部科学省ホームページを御覧ください。

[指定機関の学科等の一覧：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kyoin/daigaku/1308277.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/daigaku/1308277.htm)]

## IV 令和2年度試験の見直しについて

令和2年度小学校教員資格認定試験の見直しについて、令和2年2月18日に文部科学省において決定され、公表されました。見直しの内容については文部科学省のホームページをご覧ください。

[見直しの内容：[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2020/mext\\_00112.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2020/mext_00112.html)]

## V 実施スケジュール

**受験願書等の請求受付期間** 令和2年5月29日(金)まで

- 請求方法について、詳しくは「3. 出願手続 II 受験願書等の請求」をご覧ください。
- 請求受付期間後の請求は一切できませんので、十分御注意ください。

**出願期間** 令和2年5月22日(金)から  
令和2年6月5日(金)まで(当日消印有効)

- 小学校・幼稚園教員資格認定試験 受付事務局宛に所定の受験願書等提出用封筒にて郵便局の窓口から「書留」で郵送してください。

**受験票の交付** 令和2年8月中旬頃

- 8月24日(月)の時点で到着しない場合は、独立行政法人教職員支援機構へ連絡してください。

**第1次試験実施日** 令和2年9月13日(日)  
(予備日 令和2年9月20日(日))

- 実施の日程について、詳しくは「2. 試験の実施方法 I 実施期日, 場所, 試験の内容・方法」をご覧ください。
- 合否通知は、11月2日(月)に発送します。

**第2次試験実施日** 令和2年11月28日(土)及び11月29日(日)の2日間  
又は令和2年12月5日(土)及び12月6日(日)の2日間  
(予備日 令和2年12月12日(土)及び12月13日(日)の2日間)

- 実施の日程について、詳しくは「2. 試験の実施方法 I 実施期日, 場所, 試験の内容・方法」をご覧ください。

**合格者の発表** 令和3年1月20日(水)

- 1月20日(水)に合否通知を発送するとともに、合格者の受験番号を認定試験ホームページに掲載します。

## 2. 試験の実施方法

### I 実施期日、場所、試験の内容・方法

認定試験は、第1次試験、第2次試験に分けて実施します。

受験に関する詳細については、受験票（受験者心得等を記載）を送付しますので、よく読んで受験してください。

(注) 認定試験に係る教科書・参考書等の例示・紹介、勉強法についての助言等は行っておりません。過去の問題は認定試験ホームページに掲載しています。

認定試験ホームページ：<https://www.nits.go.jp/menkyo/shiken/>

#### (1) 第1次試験

ア 期 日 **令和2年9月13日(日)**  
(ただし、災害等によりイに示す一方の会場が上記期日に実施できない場合、両会場とも令和2年9月20日(日)に変更して実施する。)

イ 場 所 東京近郊及び大阪近郊  
(場所は、6月頃に認定試験ホームページにおいて公表するとともに、受験者には8月中旬頃に送付する受験票にて通知する。)

ウ 試験の内容及び方法

区 分	内 容	方 法
教科及び教職に関する科目 (I)	教育職員免許法施行規則第3条第1項表における「教育の基礎的理解に関する科目」及び「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」に関する専門的事項	筆記試験 ：マークシート方式 (択一式とする。)
教科及び教職に関する科目 (II)	小学校の各教科の具体的な授業場面を想定した指導法及びこれに付随する基礎的な教科内容 (小学校の10教科の中から、「音楽」、「図画工作」、「体育」のうち2教科以上を含む6教科を選択して受験する)	筆記試験 ：マークシート方式 (択一式とする。)
教科及び教職に関する科目 (III)	小学校の各教科の具体的な授業場面を想定した指導法及びこれに付随する基礎的な教科内容 (小学校の10教科の中から1教科を選択して受験する)	筆記試験 (論述式とする。)
教科及び教職に関する科目 (IV)	教職への理解及び意欲、児童理解、実践的指導力等、小学校教員として必要な能力等の全般に関する事項	筆記試験 (論述式とする。)

論述式試験(教科及び教職に関する科目(III)及び教科及び教職に関する科目(IV))については、択一式試験(教科及び教職に関する科目(I)及び教科及び教職に関する科目(II))が合格基準を超えた場合のみ採点対象とします。

また、論述式試験を欠席した場合は、択一式試験は採点しません。

## エ 時間割

時間割	試験科目
9:00～12:00	教科及び教職に関する科目（Ⅱ）
13:10～14:20	教科及び教職に関する科目（Ⅰ）
15:00～17:00	教科及び教職に関する科目（Ⅲ）
	教科及び教職に関する科目（Ⅳ）

## カ 第1次試験の可否結果通知

第1次試験の受験者には、独立行政法人教職員支援機構から本人宛てに、試験結果通知書を11月2日（月）に発送します。受験予定の試験科目を欠席した場合には試験結果通知書は送付しません。なお、電話による可否の照会には、一切応じません。

## (2) 第2次試験

第2次試験は、第1次試験に合格した者に限り受験することができます。

## ア 期 日 令和2年11月28日(土)及び11月29日(日)の2日間

又は令和2年12月5日(土)及び12月6日(日)の2日間

(ただし、災害等により実施できない場合に限り、令和2年12月12日(土)及び12月13日(日)の2日間に変更して実施する。)

## イ 場 所 独立行政法人教職員支援機構（茨城県つくば市立原3番地）

## ウ 試験の内容及び方法

内 容	方 法
教職への理解及び意欲、小学校教員として必要な実践的指導力に関する事項	指導案作成、模擬授業、グループ討議及び課題論文作成等

## エ 時間割

第1次試験の可否結果通知時に、第1次試験の合格者に受験者心得の発送をもって通知します。

## Ⅱ 合格者の発表等

第1次試験、第2次試験の全てに合格した者を令和2年度小学校教員資格認定試験の合格者とし、独立行政法人教職員支援機構から本人宛てに、合格者には合格証書を、不合格者には試験結果通知書を**令和3年1月20日（水）**に発送します。また、合格者の受験番号を認定試験ホームページに掲載します。受験予定の試験科目を欠席した場合には可否通知は送付しません。電話による可否の照会には、一切応じません。

なお、認定試験の個人の成績については、受験者本人のみ開示を求めることができます。詳細は第1次試験終了後、認定試験ホームページに掲載します。

## 3. 出願手続

### I 出願期間

**令和2年5月22日(金)から令和2年6月5日(金)まで**

(注) 令和2年6月5日(金)の消印のあるものまで受理します。

### II 受験願書等の請求

**請求受付期間：令和2年5月29日(金)まで**

※請求受付期間後の請求は一切できませんので、十分御注意ください。

#### (1) インターネットで請求する場合(テレメールの資料請求受付サイト)

次の URL にアクセスし、画面に従って必要事項を入力して申し込んでください。

(PC) <https://telemail.jp/shingaku/pc/gakkou/kyouin/shougakkou.php>

(スマートフォン等) <https://telemail.jp/?btc=1029293&gsn=6100001>

（テレメールは、24時間いつでもアクセスできる資料請求受付サービスです。また、テレメールカスタマーセンターは、このサービスのサポートセンターであり、いずれも株式会社フロムページが運営しています。）



(QRコード)

#### (2) 電話で請求する場合

IP 電話 050-8601-0101 へ電話し、音声ガイダンスに従ってプッシュボタンを押して申し込んでください。なお、その際、受験案内の資料請求番号を聞かれますので、**753502**と押してください。

#### (3) 留意事項

ア 上記(1)又は(2)のいずれの方法でも、お届けする受験願書等は同一です。

イ 請求後概ね3～5日後に届きます(日曜日や祝日をまたぐ場合や、地域や郵便事情によってはお届けに1週間程度要する場合があります)。ただし、令和2年5月6日(水・祝)以前に請求された場合のお届けは、令和2年5月12日(火)頃となります。

ウ 受験願書等の到着後、同封される支払方法に従って、料金180円をお支払いください。

エ 願書等の請求に関して不明な点は以下へお問い合わせください。

テレメールカスタマーセンター：IP 電話 050-8601-0102 (9:30～18:00)

オ 願書請求は上記(1)又は(2)の方法のみであり、小学校・幼稚園教員資格認定試験 受付事務局及び独立行政法人教職員支援機構では請求を受け付けていませんので、請求受付期間に十分御注意ください。

### III 出願方法

小学校・幼稚園教員資格認定試験 受付事務局宛て、所定の受験願書等提出用封筒にて郵便局の窓口から「書留」で郵送してください。

(注) 書留郵便以外(普通郵便等)の出願は認めません。また、小学校・幼稚園教員資格認定試験 受付事務局及び独立行政法人教職員支援機構への直接持参による出願は受け付けません。

## IV 出願書類

### (1) 出願書類点検票（所定の用紙）

### (2) 受験願書（所定の用紙）

### (3) 戸籍抄本（個人事項証明書）又は住民票の写し

発行後 6 か月以内のもの。本籍の記載は省略せず、マイナンバーの記載は省略すること。  
(注) 各種証明書の氏名と現在の氏名が異なる場合や、住民票に本籍の記載のない場合には、戸籍抄本を提出してください。なお、「住民票の写し」とはコピーではありません。

### (4) 受験資格を満たす学校の卒業（又は修了）証明書

出身高等学校、大学、短期大学等の卒業証明書（写しは不可）  
高等学校卒業程度認定試験合格者は合格証明書（写しは不可）  
大学等に在学中の場合は、在学証明書を提出すれば、高等学校の卒業証明書の提出は不要です。

- (注) (a) 卒業証書・修了証・学位記の原本や写しは不可。  
(b) 卒業しても受験資格を満たさない学校（専修学校（一般課程や高等課程の一部）、各種学校、学校教育法以外の法律に特別の規定があるもの（各種大学校など））の卒業証明書は除きます。この場合、高等学校、大学又は短期大学等の卒業証明書等を添付してください。ただし、受験願書の学歴欄には、高等学校卒業以降の学歴を全て記入してください。  
(c) 平成 30 年度又は 2019 年度小学校教員資格認定試験を受験した場合、受験票の写し又は試験結果通知書（合格通知書も可）の写しの提出により、書類の提出が省略できます。

- (注) (a) 受験手数料の払込方法は、後日認定試験ホームページにおいて公表するとともに、受験者には 8 月中旬頃に送付する受験票にて通知します。払込みにあたっては、払込取扱票により行っていただきますので、大切に保管してください。  
(b) その他別途書類の提出を求める場合があります。

## V 障害等による受験上の配慮の希望について

障害等のため受験上の配慮を希望する場合は、令和2年5月21日（木）までに独立行政法人教職員支援機構まで申し出てください。申請に必要な書類の提出について御案内します。

出願の際、「受験願書」の所定の欄に配慮を希望する旨を記入するとともに、必要書類を提出してください。希望内容及び提出書類を審査の上、個々の症状や状態等に応じ配慮事項を決定し通知します。

後日、連絡を取ることがありますので、出願の際、必ず「受験願書」の「連絡先」（平日昼間に連絡が取れる連絡先）を記入してください。

## VI 2019年度試験において「第2次試験に代わる「教科及び教職に関する専門性」等を評価する措置」の受験を希望しなかった場合の科目及び受験手数料の免除について

2019年度小学校教員資格認定試験の第1次試験に合格し、「第2次試験に代わる「教科及び教職に関する専門性」等を評価する措置」の受験を希望しない旨を希望調査票により回答した者で、第1次試験の択一式科目（「教科及び教職に関する科目（Ⅰ）」及び「教科及び教職に関する科目（Ⅱ）」）及び受験手数料の免除を希望する場合は、令和2年5月21日（木）までに独立行政法人教職員支援機構まで申し出てください。

## VII 個人情報の取扱いについて

出願時に提出する関係書類に記載された個人情報については、「行政機関の保有する情報の保護に関する法律」及び「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」において、それぞれ定めている個人情報の保護に関する規程等に基づいて取り扱います。

- (1) 独立行政法人教職員支援機構は、出願に当たって知り得た個人情報を本試験の実施及びこれに付随する事項を行うために利用します。
- (2) 独立行政法人教職員支援機構は、上記の業務を遂行するために、知り得た個人情報の全部又は一部を、文部科学省に対して提供することがあります。
- (3) 独立行政法人教職員支援機構は、上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を業者に委託して行うことがあります（以下、当該業者を「受託業者」という。）。  
ついては、業務を遂行するために必要となる範囲で、受託業者に対して、知り得た個人情報の一部を提供することがあります。
- (4) 独立行政法人教職員支援機構は、教員免許状発行業務のために、各都道府県教育委員会に対して、合格者の個人情報の一部を提供します。
- (5) 独立行政法人教職員支援機構は、出願者本人の同意を得ることなく当該出願者の個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

## 4. 出願後の注意事項

### I 受験票の交付

- (1) 独立行政法人教職員支援機構が受験願書を受理した場合は、出願者に受験票を交付します。受験票は、8月中旬頃までに発送します。8月24日(月)の時点で到着しない場合は、独立行政法人教職員支援機構へ連絡してください。
  - (2) 受験票には受験番号、試験場、受験者心得など必要な事項が記載されています。
  - (3) 受験票は、受験の際携帯し毎時間これを提示しなければ受験できません。
- (注) 受験票は、成績開示請求をする場合に必要となります。紛失しないように保管してください。

### II 出願後の変更等について

- (1) 出願した後、氏名、本籍地又は住所を変更した場合は、その変更の記載された戸籍抄本又は住民票の写しを独立行政法人教職員支援機構に提出してください。
- (2) 出願した後は、受験地の変更は認めません。

### III 災害等による試験の中止等について

災害など不測の事態により、直前に試験の実施を中止する場合があります。災害による試験の中止等、試験に関する直前の情報は、独立行政法人教職員支援機構ツイッターでお知らせします。

独立行政法人教職員支援機構ツイッター：<https://twitter.com/NITS298>

また、災害等によって、予備日においても中止の場合は再試験は行いません。

### IV 受験手数料の払込みについて

受験手数料の払込方法は、後日認定試験ホームページにおいて公表するとともに、受験者には8月中旬頃に送付する受験票にて通知します。払込みにあたっては、払込取扱票により行っていただきますので、大切に保管してください。

## 5. 免許状の授与申請等

- (1) 認定試験の合格者は、文部科学省から合格証明書の交付を受けて都道府県教育委員会に申請すると、小学校教諭の二種免許状が授与されます。その手続については、都道府県教育委員会の教育職員免許事務担当課に照会してください。
- (2) この認定試験は資格試験であり、教員の採用選考試験ではありません。教員として採用を希望するときは、公立学校の場合にあつては都道府県又は指定都市教育委員会の教職員人事担当課に、国立及び私立学校の場合にあつてはその学校を設置する法人に、それぞれ照会してください。
- (3) 平成21年3月31日以前に授与された他の学校種等の教員免許状（10年間の有効期間が付されていない旧免許状）を所持する者は、免許状更新講習を受講・修了せずに生年月日等によって割り振られた修了確認期限を経過している場合には、本試験に合格し小学校教諭二種免許状を取得した場合であっても、免許状更新講習を受講・修了しなければ教員になることはできません。  
教員免許更新制ホームページ：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm)

## 6. お問い合わせ先

### I よくある質問

御不明点は、認定試験ホームページの「教員資格認定試験に関するよくある質問」を御覧ください。  
認定試験ホームページ：<https://www.nits.go.jp/menkyo/shiken/>

### II 出願書類提出先・出願期間中（5月22日（金）～6月5日（金））お問い合わせ先

「小学校・幼稚園教員資格認定試験 受付事務局」  
電話番号： 03(5396)8153  
対応時間： 10:00～17:00（土・日・祝日を除く）  
（業務委託先： 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン）

### III 独立行政法人教職員支援機構の担当部署

独立行政法人教職員支援機構 次世代教育推進センター 調査企画課 試験企画室  
E-mail [shiken@ml.nits.go.jp](mailto:shiken@ml.nits.go.jp) 電話（ダイヤルイン）03(4212)8455

## 資料12

### 教員免許更新制

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21年4月1日から教員免許更新制が導入されました。

#### 1. 目的

教員免許更新制は、その時々で求められる教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものです。不適格教員の排除を目的としたものではありません。

#### 2. 基本的な制度設計について

- 免許状には10年間の有効期間が付されます。
- 有効期間を更新して免許状の有効性を維持するには、2年間で30時間以上の免許状更新講習の受講・修了が必要です。

#### 3. 教員免許更新制のおおまかな流れ

- ① 有効期間の満了の日を確認。若しくは最初の修了確認期限を確認。  
所持している免許状に記載されている有効期間満了日を確認してください。有効期間の異なる複数の免許状を所持している場合は、その最も遅く満了する日が、自動的に全ての免許状の有効期間満了日となります。
- ② 受講資格を確認  
免許状更新講習は、受講対象に該当する者のみ受講することができます。
- ③ 各自が文部科学省や大学のホームページ等を確認して、受講したい免許状更新講習を選択  
免許状更新講習受講期間（有効期間の満了の日又は修了確認期限の2年2か月前から2か月前までの2年間）をご確認ください。
- ④ 各自が各大学等に受講申込み  
受講申込みの際、受講対象に該当している証明が必要になります。
- ⑤ 各大学等で免許状更新講習を受講します
- ⑥ 講習の課程を修了  
30時間以上の講習の課程を修了（課程の一部である場合は履修）した場合は、各大学等から修了認定（履修認定）され、修了証明書（履修証明書）が発行されます。
- ⑦ 有効期間の更新又は更新講習修了確認のための申請  
各自が修了証明書又は合算して30時間以上となる履修証明書を添付して、免許管理者（勤務する学校が所在する都道府県教育委員会（現職教員の場合）又は住所地の都道府県教育委員会（現職教員でない場合））に有効期間の更新又は更新講習修了確認のための申請を行う必要があります。

- ⑧ 有効期間更新証明書又は更新講習修了確認証明書の発行  
免許管理者は、申請者が免許状更新講習の課程を修了したことを確認し、有効期間更新証明書又は更新講習修了確認証明書を発行します。
  - ⑨ 次回の有効期間満了日又は修了確認期限の確認  
次の有効期間満了日又は修了確認期限（10年後）まで持っている全ての教員免許状が有効です。
- 
- ※ 有効期間の満了の時点で教員としての勤務経験がなく、これから教員となることも見込まれない方は、更新講習を受講することはできません。ただし、過去に教員としての勤務経験がある方や今後教育職員となることが見込まれる方（教員採用内定者、都道府県教育委員会や私立法人の臨時任用教員リスト掲載者など）は、更新講習を受講・修了し、免許管理者（住所地の都道府県教育委員会）へ更新の申請をすることができます。
  - ※ 更新講習を受講・修了しなかった場合は有効期間の満了日をもって失効することになりますが、免許状を返納する必要はありません。免許状が失効した場合でも、更新講習を受講・修了することによって、有効な免許状を再び取得することができます。
  - ※ 免許状が失効した場合（修了確認期限までに更新講習の修了確認を受けなかった場合）でも、免許状を取得した際に、授与の基礎となった教職課程の単位までは無効になりません。